

1. 我が国の移入種（外来種）リスト（2002年5月版）

本リストは、今後情報を追加し改訂するために現時点版として示すものである。
リストごとに掲載基準が若干異なる。出典は以下の通りである。

表1-1（哺乳類）：定着確認種のリスト

（日本哺乳類学会）哺乳類保護管理専門委員会，1999．移入哺乳類への緊急対策に関する大会決議．哺乳類科学，39(1)：115-129．

表1-2（鳥類）：一時的確認種を含むリスト

日本鳥学会，2000．日本産鳥類目録 改訂第6版．日本鳥学会．345pp．

表1-3（爬虫類）：定着確認種のリスト

太田英利，1995．琉球列島における爬虫・両生類の移入．沖縄島嶼研究，13：63-78．
千石正一・疋田努・松井正文・仲谷一宏，1996．日本動物大百科 第5巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類．平凡社．189pp．
環境省自然環境局生物多様性センター，2001．生物多様性調査 動植物分布調査報告書（両生類・爬虫類）．264pp．

表1-4（両生類）：定着確認種のリスト

前田憲男・松井正文，1999．改訂版 日本カエル図鑑．文一総合出版．223pp．
および爬虫類で利用した3文献

表1-5（魚類）：定着確認種のリスト

水産庁，1992．移入すれば問題になりうる主な外国産魚種に関する文献調査．159pp．
外来種影響・対策研究会，2001．河川における外来種対策に向けて（案）．リバーフロント整備センター．124pp．
細谷和海，2001．日本産淡水魚の保護と外来魚．水環境学会誌，24(5)：273-278．
川那部浩哉・水野信男，1998．日本の淡水魚 第2版．山と溪谷社．719pp．
中坊徹次，2000．日本産魚類検索 全種の同定 第二版．東海大学出版会．1748pp．
吉郷英範・岩崎誠，2001．沖縄島で繁殖が確認された国外侵入種の魚類．比婆科学，201：15-26．

表1-6（昆虫類）：定着できずに現在では消滅した種類も含むと考えられる

森本信生・桐谷圭治，1995．Fauna of Exotic Insects in Japan（日本の外来昆虫相）．農業環境技術研究所報告，12：87-120．
桐谷圭治，2000．世界を席卷する侵入昆虫．インセクトリウム，37(8)：224-235．

表1-7（昆虫以外の無脊椎動物）：定着できずに現在では消滅した種類も含むと考えられる

肥後俊一・後藤芳央，1993．日本及び周辺地域軟体動物総目録．エル貝類出版局．693pp．
中井克樹・松田征也，2000．日本における淡水貝類の外来種．月刊海洋 号外 No20：57-65．
沼田真・風呂田利夫，1997．東京湾の生物誌．築地書館．411pp．
奥谷喬司・武田正倫・今福道夫（編），1997．日本産動物大百科 第7巻 無脊椎動物．平凡社．196pp．
嵩原健二・当山昌直・小浜継男・幸地良仁・知念盛俊・比嘉ヨシ子，1997．沖縄の帰化動物．沖縄出版．227pp．
八杉龍一・小関治男・古谷雅樹・日高敏隆（編），1996．岩波生物学辞典 第4版．岩波書店．2027pp．

表1 - 8 (維管束植物): 以下の文献に記載のある種。ただし、江戸時代より前に移入された外来種(史前帰化植物など) 誤記載された種(同一種に2つ以上の和名が与えられた場合や同定の間違いなど) 根拠となる標本がなく正体が不明と思われる種、品種レベルでの違いしか認められない種(白花品など)を除いた

- 久内清孝, 1950. 帰化植物. 科学図書出版会.
- 長田武正 (1972) 日本帰化植物図鑑. 北隆館, 東京.
- 長田武正 (1976) 原色日本帰化植物図鑑. 保育社, 大阪.
- 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 (2001) 日本帰化植物写真図鑑. 全農教, 東京.
- 太刀掛優 (1998) 帰化植物便覧. 比婆科学教育振興会. 306pp.
- 長田武正 (1993) 増補日本イネ科植物図譜. 平凡社.
- 角野康郎 (1994) 日本水草図鑑. 文一.
- 牧野富太郎 (1989) 改訂増補牧野新日本植物図鑑. 北隆館.
- 神奈川県立生命の星・地球博物館 (2001) 神奈川県植物誌 2001. 神奈川県植物誌調査会編.
- 埼玉県教育委員会 (1998) 埼玉県植物誌.
- 山口県植物誌刊行会 (1972) 山口県植物誌.
- 五十嵐博 (2000) 北海道帰化植物便覧. 北海道野生植物研究所.
- * 多和田真淳・石原直樹 (1979) 沖縄植物野外活用図鑑「帰化植物」. 新星図書.
- 塚本洋太郎 (1977-1978) 原色日本園芸植物図鑑 I-V. 保育社, 大阪.
- 高橋二郎 (1964) 原色日本野菜図鑑. 保育社, 大阪.
- 竹松哲夫・一前宣正 (1987-1997) 世界の雑草 I 合弁花類・ 離弁花類・ 単子葉類, 全国農村教育協会.
- 外来種影響・対策研究会 (2001) 河川における外来種対策に向けて [案]. リバーフロント整備センター.
- 山口裕文 (1997) 雑草の自然史 [たくましさの生態学]. 北海道大学図書刊行会.
- 鷲谷いづみ・森本信生 (1993) エコロジーガイド日本の帰化生物. 保育社, 大阪.

さらに以下の文献 (20-37) に掲載された外来種のうち、現在も生育していると思われる種を加えた。

- 文献 20 植物研究雑誌
- 文献 21 植物分類・地理
- 文献 22 植物地理分類研究 (北陸の植物)
- 文献 23 水草研究会会報
- 文献 24 * レポート日本の植物
- 文献 25 * 植物採集ニュース
- 文献 26 * 駿遠植物調査資料
- 文献 27 * 野草
- 文献 28 大滝末男・石戸忠 (1980) 日本水生植物図鑑. 北隆館.
- 文献 29 いがりまさし (1996) 日本のスミレ. 山と溪谷社, 東京.
- 文献 30 林弥栄・平野隆久 (1989) 野に咲く花, 山と溪谷社, 東京.
- 文献 31 林弥栄 (1985) 日本の樹木, 山と溪谷社, 東京.
- 文献 32 * 初島住彦・天野鉄夫 (1994) 増補訂正琉球植物目録. 沖縄生物学会.
- 文献 33 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎ほか (1981-1982) 日本の野生植物 草本 1-3. 平凡社, 東京.
- 文献 34 * 清水健美ほか長野県植物誌編纂委員会 (1997) 長野県植物誌.
- 文献 35 * 大久保一治 (1999) 増補改訂岡山県植物目録.
- 文献 36 * 千葉県生物学会 (1975) 新版千葉県植物誌.
- 文献 37 岡山大学資源生物科学研究所野生植物学研究室 HP - 日本の帰化植物一覧表

表1 - 9 (維管束植物以外の植物): 一時的確認種を含むリスト

- Enomoto, S., Ohba, H., and Suda, S., 1983. Transition of the marine algal flora around the northeastern Awaji Island. Mem. Grad. School. Sci. & Technol., Kobe Univ. 1:A:89-98.
- 北山太樹, 1993. ヒラムチモ. 「藻類の生活史集成」. 褐藻・紅藻類 (堀輝三編), pp. 102-203. 内田
- 右田清治・一木明子, 1962. 九州西岸に産する *Cutleria multifida* について. 藻類, 10: 77-81. 老鶴園.
- 生出・吉田, 1989. 神奈川県におけるミカヅキゼニゴケの分布 (予報) 神奈川県自然史資料, 10: 71-78.